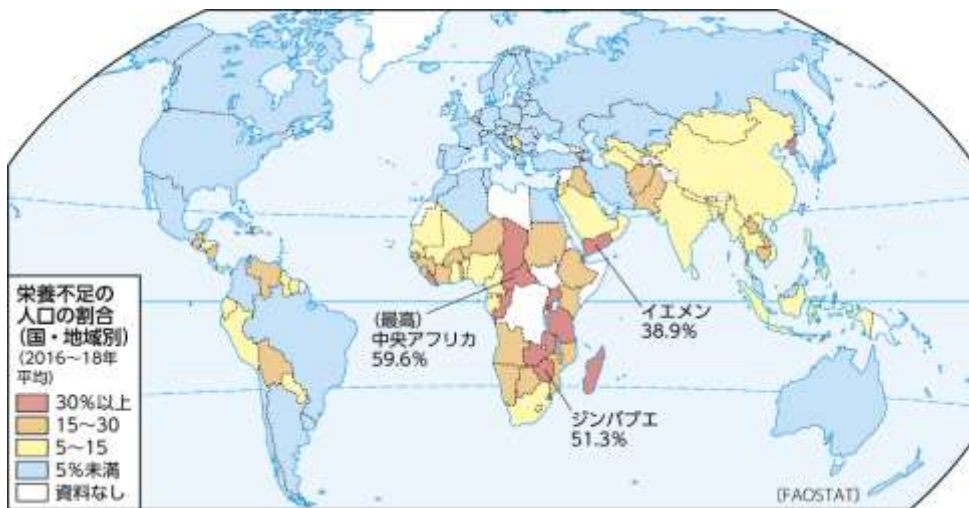


《テーマ》

なぜ、食糧需給の偏りは生じるのだろうか？

■ 飢餓と飽食 starvation and satiation

Q 以下の地図から、栄養不足の人口の割合が高いのはどの地域か、読み解いてみよう！



A Nutritiously
Deficient Areas:

▲帝国書院 地総 703『高等学校 新地理総合』P174④

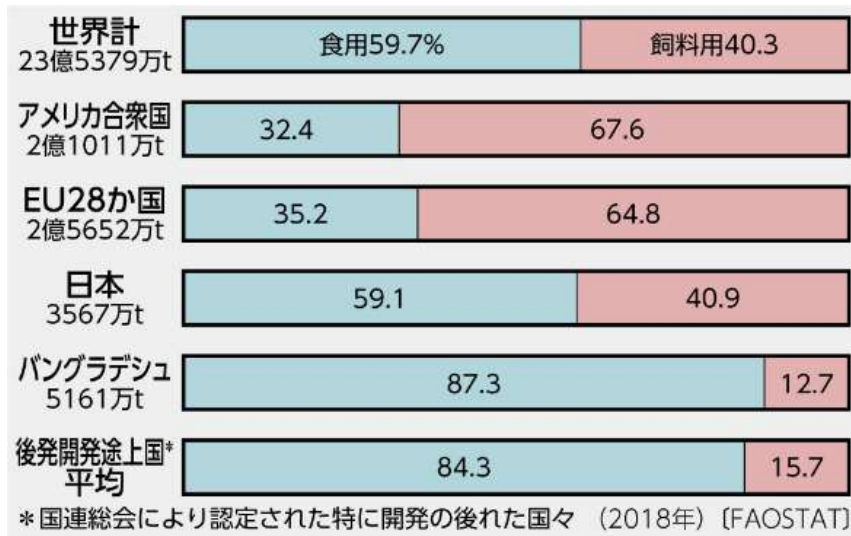
(1) 食料問題の現状 (Current State of Food Issues)

- ① 世界の食料の生産量は世界人口に対して十分 → 食料の需要と供給には地域的な偏りが大きい
- ② 先進国の問題…食料に恵まれ、(1 飽食) が日常的に Uneven supply and demand for food
- ③ 発展途上国の問題…(2 飢餓) に直面している地域も

(2) 発展途上国で、飢餓が発生する要因 (Factors contributing to starvation) とは？

- ① アフリカ・南アジアの多く…人口が急増 (High population)
→ 土地の肥沃度が低く、肥料の使用も少ない…食料生産力が追い付いていない
(Low food productivity due to lack of fertile land)
- ② アフリカ…外貨獲得のため、コーヒーやカカオなどの(3 商品作物)の生産重視
→ 自国用の穀物生産を軽視 (Emphasis on export crops rather than food for domestic use)
- ③ 異常気象による干ばつ・洪水などの自然災害 (Natural disasters : droughts and floods etc.)
- ④ 紛争・内戦・感染症の流行 (Human-caused disasters : conflicts and infectious disease outbreaks)

Q 以下の表を見て、穀物の使われ方（Purpose of grain use）の違いをまとめてみよう。



▲帝国書院 地総 703『高等学校 新地理総合』P175⑥

A

(3) 先進国に食料が偏る理由とは？

① 食生活の多様化…特に、肉類の消費が多い

※肉類の生産…家畜の飼育に、とうもろこしなどの穀物を大量に使用

→ 肉類の摂取は、間接的にその何倍もの穀物が消費されることになる

② 穀物需要の急増

・穀物…家畜の飼料用として使用

・とうもろこし…（4 バイオエタノール）向けに使用

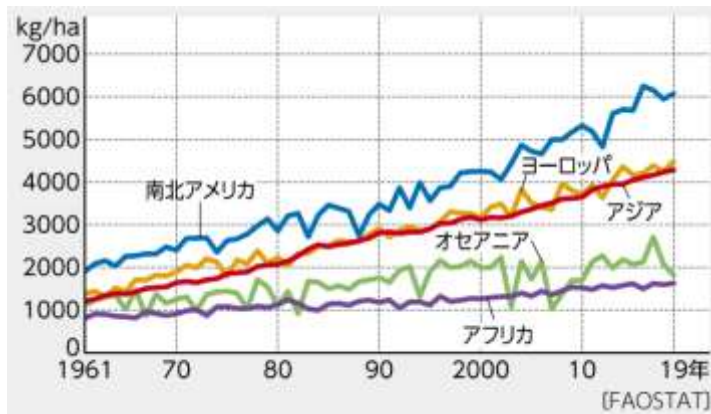
※2000年代より、世界の穀物価格は上昇、不安定化

→ 穀物を輸入に依存する発展途上国に大きな痛手

Developed countries import much grain as feed for meat production and as a raw material for fuel. As a result, grain prices have risen, and developing countries that depend on grain for their food supply are in trouble.

■地域で異なる食料問題への取り組み

Q 以下の「地域別の1haあたりの穀物収量の推移」の表を見て、地域によって穀物収量にはどのような違いがあるのか、まとめてみよう。



A Grain Yield Trends:

▲帝国書院 地総 703『高等学校 新地理総合』P176③

(1) サハラ以南アフリカ…穀物収量が低く、深刻な食料不足に直面
→ 先進国の援助を受け、農業生産力の向上を目指す

Q 先進国が援助をするときには、どんなことに気を付ければ良いか、考えてみよう！

A 先進国とアフリカの間では、気象条件が異なる。そのため、地域に適応した農業技術の開発と普及させる、持続可能な取り組みが重要。

(Consideration of local characteristics and sustainable approaches are important.)

(2) アメリカ合衆国…生活習慣病の増加や(5 食品ロス)の問題を抱える

Q 食品ロスの対策として、アメリカ合衆国ではどんな取り組みが行われているか、まとめてみよう！

A 品質には問題ないが廃棄せざるを得ない商品や、食べ物を十分に得られない人々へ無償で配布する、フードバンクの取り組みを行っている。

【まとめ】食料問題の解決に向けて、あなたはどんなことができるか、身近なことから考えてみよう。